



## 今月の取り組み

- 2月 1日 (木)  
担ぎ手再募集
- 2月 3日 (土)  
一步会 (江名) 来社
- 3月  
会計監査  
総会  
例大祭打合せ

## 決定！！

# 「六十余名」の担ぎ手

## 本当にありがとうございました 今後の再募集も宜しくお願い申し上げます

先日、一月二十八日 神社の  
全役員会議を開催し、担ぎ手  
募集の人数集約をおこない  
ました。

その結果は、六〇余名の数字となりま  
した。  
その数字以て、人力による渡御を決定  
をしました。  
本当にありがとうございました。  
役員一同、大きな喜びと人力による神  
輿の  
渡御に自信を持つことができました。  
今後は、八〇名を越えるよう、お声掛  
けをしますので、若きも老いも女性も  
地元の短いコースでも元気で健康な方  
ならだれでも構いませんので、参加い  
ただけることを期待しお願い申し上げ  
ます。  
なお、四月になりましたら、例年の  
ごとく奉賛金をお願いいたします。

お正月気分も抜けた、一月八日、  
寒い中、区民の皆さまから預かつ  
た  
御札や正月飾り等の御焚き上げを  
東山地区の海側の砂浜で行いまし  
た。  
まあ一日の出ないうちは寒くて凍  
え、足のつま先まで痛くなります。  
ところが火がついて暫くすると燃  
える勢いも増し、熱くて煙くてど  
うにもなりません。  
そのうち、  
日が昇り  
寒さが和ぎ、  
七時三〇分  
頃には、大  
方が付く。  
その後も  
大変なん  
ですよ！  
残火を  
確認し、  
大穴を埋  
める作  
業です。  
役員の皆  
さんは、汗  
だく  
です。

「寒い！」  
「暑い、げむい！」  
御焚き上げ



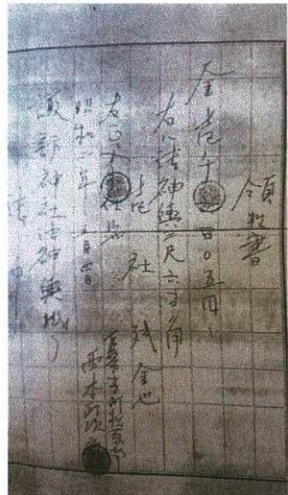
## 神社の資料から



「御神輿設計書」



「契約証」



「領収書」

右3枚の写真が昭和二年に京都市  
寺町の西本神具部より当時、巻千八  
百五円で購入した際の『設計書』  
『契約証』および『領収書』写しです。  
当時は、京都から貨車で搬送し  
四倉駅着止め、上仁井田の若衆が  
駅まで、引き取りいただいたのでし  
ょう。  
当時の有り様を知りたいものです。